

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representation of
The original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

AF

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-282904

(43)Date of publication of application : 15.10.1999

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 10-085682

(71)Applicant : TOSHIBA CORP

(22)Date of filing : 31.03.1998

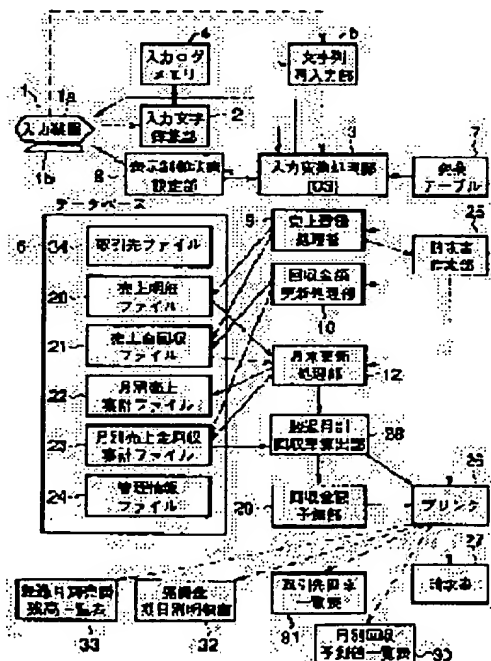
(72)Inventor : YOSHIDA TAKESHI
ARIMATSU MICHIO
OI TERUYUKI

(54) SALES MANAGEMENT SYSTEM, INPUT DISPLAY CONTROL METHOD AND INPUT PROCESSOR

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To decrease the miscollection of sales and to estimate the future monthly sales to be collected with high accuracy by preparing a monthly totalization file, calculating the collection rate of every past monthly proceeds amount and estimating the sales to be collected of every month from the estimated sales of every future month.

SOLUTION: The transaction files 20 and 21 store the client information, the credit amounts of sales, the collected credit amounts, etc. The monthly totalization files 22 and 23 store the total proceeds amount of each of prescribed past months and the collected credit amounts included in the proceeds amount. A past monthly collection rate calculation part 28 calculates every past monthly collection rate against the proceeds amount of every month stored in the files 22 and 23, respectively. A collection amount estimation part 29 estimates the sales to be collected in each of prescribed past months following the next month, based on the estimated sales of each of the prescribed past months and the calculated collection rate of every past month.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

03.09.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

(11) 特許出願公開番号

(43)公開日 平成11年(1999)10月15日

技術表示箇所

7

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 取引が発生する毎に入力装置を介して入力された該取引の取引先情報、販売商品情報、販売日、売上金額、該当売上金額における掛売金額、該当掛売金額における回収金額を記憶する取引別ファイルと、現在月から過去に所定月数遡った月までの各月における合計の売上金額と該当売上金額に含まれる掛売金額における現在までの回収金額とを記憶する月別集計ファイルと、

各取引に対する回収金額が前記入力装置を介して入力される毎に前記取引別ファイル及び月別集計ファイルの対応する回収金額を増額更新する回収金額更新手段と、月の終了時点で、前記月別集計ファイルにおける各月の各金額を一つ前の月へシフトし、前記取引別ファイルの記憶内容のうちの当月の合計の売上金額と掛売金額における現在までの回収金額を集計して、前記シフトの後の最も新しい月に書込む月別集計ファイル更新手段と、この更新後の月別集計ファイルにおける各月の売上金額に対する回収率を各経過月別回収率として算出する経過月別回収率算出手段と、

次月以降所定月数経過するまでの各月における各売上予測と前記経過月別回収率算出手段で算出された各経過月別回収率から前記次月以降所定月数経過するまでの各月における各回収金額の予測を行う回収金額予測手段とを備えた販売管理システム。

【請求項 2】 入力装置から入力された各項目の文字列を表示装置に表示された入力案内画面の指定位置に各項目毎に定められた表示制御形式に従って表示する入力表示制御方法において、

前記入力すべき各項目の文字列を複数のテキスト種別に

30 区別し、
前記文字列を前記入力案内画面に表示する時に参照される前記テキスト種別に対応して選択指示する複数の表示制御項目を予め選択指定しておく、

前記各項目毎に、該当項目に入力される前記文字列のテキスト種別に対応して予め選択指定された表示制御項目と、この表示制御項目に対する表示制御状態を選択指定するための項目別表示選択画面を前記表示装置に表示させ、

この項目別表示制御選択画面で選択指定された各表示制御項目に対する表示制御状態を該当項目の表示制御形式として設定することを特徴とする入力表示制御方法。

【請求項 3】 前記テキスト種別は、文字型テキストと数値型テキストと日付型テキストとに区分されることを特徴とする請求項 2 記載の入力表示制御方法。

【請求項 4】 入力装置を介して入力された各種情報に基づいて入力処理部で所定の入力処理を実施する入力処理装置において、

前記入力装置で操作入力された前記各種情報を示す文字列を採取する入力文字列採取手段と、

この入力文字列採取手段で採取された文字列を時系列的に記憶する入力ログメモリと、

障害発生時や再実行が必要な時に、前記入力ログメモリに記憶された各文字列を前記入力処理部へ入力して前記入力処理部に前記処理を再実行させる文字列再入力部とを備えた入力処理装置。

【請求項 5】 入力装置を介して入力された各種情報に基づいて入力処理部で所定の入力処理を実施する入力処理装置において、

10 前記入力処理部に組込まれ、前記入力装置で操作入力された前記各種情報を示す文字列を採取する入力文字列採取手段と、

この入力文字列採取手段で採取された文字列を時系列的に記憶する入力ログメモリと、

前記入力処理部に組込まれ、障害発生時や再実行が必要な時に、前記入力ログメモリに記憶された各文字列に基づいて前記所定の入力処理を再実行させる入力再実行処理手段とを備えた入力処理装置。

【発明の詳細な説明】

20 【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】本発明は、例えば商店や商社等に設置され、商品を販売した場合における売上金額や掛売金額等を管理する販売管理システム、入力表示制御方法及び入力処理装置に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】商店や卸売店や商社においては、販売した商品の売上管理をコンピュータの一種である情報処理装置で構成された販売管理システムで実施している。図 2 1 は従来の販売管理システムの概略構成を示すブロック図である。この販売管理システム内には、各取引先毎に詳細な売上データを記憶する取引先別マスタファイル 4 1 と、前月の売上データと当月の売上データを記憶する領域 4 2 a、4 2 b を有する複数の月別データファイル 4 2 が形成されている。

【 0 0 0 3 】そして、例えばキーボードと表示装置とからなる売上データ入力部 3 から取引先情報と商品情報と売上金額と支払い条件等を含む売上データが入力されると、売上データ登録部 4 4 は、この売上データを取引先別詳細データファイル 1 1 へ追加登録する。そして、請求処理部 4 5 で該取引先に対して請求書を発行する。

【 0 0 0 4 】また、商品の代金の支払い方法として、商品引渡し前の前払い、現金支払い、小切手、手形、他の取引きとの相殺等があるが、販売側から見て、大きく別けて現金売りと、小切手、手形等の直ぐに現金が手に入らない掛売りとが存在する。したがって、手形等においては、この手形に記載された支払い期日が到来して手形を入手した時点で、該当商品に対する売上金額を回収したと判断する。したがって、取引先別マスタファイル 4 1 及び月別データファイル 4 2 の該当取引きの欄に現在
50 時点における回収金額を記憶するようにしている。

【 0 0 0 5 】取引先や商品や請求番号を指定した手形等の掛売している金額が回収データ入力部 4 6 を介して入力されると、回収データ更新部 4 7 は、取引先別詳細データファイル 4 1 及び月別データファイル 4 2 の該当取引きの回収金額を増額更新する。更新後において未回収金額がなくなると該当取引きの情報を月別データファイル 4 2 から削除する。

【 0 0 0 6 】そして、月末更新部 4 8 は、毎月の月末が到来すると、取引先別マスタファイル 4 1 と月別データファイル 4 2 における当月の領域 4 2 a の当月分データを前月の領域 4 2 b に書込む。そして、前月の領域 4 2 b に格納されていた前月データは前月までの残高として取引先別マスタファイル 4 1 に書込む。

【 0 0 0 7 】このように、各取引きで発生する売上データを取引先別マスタファイル 4 1 に追加登録して管理すると共に、前月以前に販売した商品の売上金額の回収状況を月別データファイル 4 2 で管理することが可能である。

【 0 0 0 8 】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、図 2 1 に示す販売管理システムにおいても、まだ改良すべき次のような課題があった。すなわち、商店や卸売店や商社の管理者は今月及び過去月の売上データを取引先別マスタファイル 4 1 で簡単に確認できると共に、月別データファイル 4 2 で前月以前に販売した商品に対する現在時点における合計の回収金額を簡単に把握できる。

【 0 0 0 9 】しかし、各販売商品の掛売債権が発生した時点からどの程度の期間で該当掛売債権が回収されるのかの詳細情報が得られない。その結果、掛売債権が多発すると、長期間に亘って掛売債権が放置され不良債権となる場合が多発する懸念がある。

【 0 0 1 0 】また、商店や卸売店や商社の管理者は、来月以降の各月における売上目標から売上予測を行い経営の維持発展を心掛ける。一般に、売上予測金額に対応する金額がすぐに入金される筈であるが、掛売りの場合は、売上は発生しても入金にすぐ結付かないので、将来の資金需要に対する資金入力の正確な予測ができない問題がある。

【 0 0 1 1 】また、このような多額の金額を扱う販売管理システムにおいては、操作者は、各種帳票に記載された取引先を特定する取引先コード、商品の商品コード、数量、売上金額、現金売／掛売等の支払い条件、販売日等の各種データからなる売上データを例えばキーボード等を用いて入力する。そして、入力された各種データは例えば取引先別マスタファイル 4 1 に記憶保持される。

【 0 0 1 2 】このような構成の販売管理システムにおいて、ハードウェアやソフトウェアに何等かの異常が生じて、再度現在時点の売上金額や回収金額を算出する必要が生じた場合は、この取引先別詳細データメモリ 4 1 に記憶されている各種データを読出して上配売上金額や回

収金額の算出処理を再度実施する。

【 0 0 1 3 】しかしながら、各種データがキーボード等の入力装置から入力されて取引先別詳細データメモリ 4 1 に書込まれるまでの過程に存在するインタフェースや入力変換回路や取引先別詳細データメモリ 4 1 に対するデータ書込み回路等のハードウェアやソフトウェアに故障が生じていた場合には、取引先別詳細データメモリ 4 1 に記憶されている各種データが誤っているので、再度売上金額や回収金額の算出処理を実施したとしても正しい結果は得られない。

【 0 0 1 4 】このような不都合を解消するためには、同一データを再度キーボードからキー入力すればよいが、入力すべき各種データのデータ量が多いと、操作者の負担が増大すると共に、キー入力操作を誤る懸念がある。

【 0 0 1 5 】さらに、このような構成の販売管理システムにおいては、操作者は各種帳票に記載された取引先を特定する取引先コード、商品の商品コード、数量、売上金額、現金売／掛売等の支払い条件、販売日等の各種データからなる売上データを例えばキーボード等を用いて入力するが、キー入力操作の効率化と確実性を確保するために、表示装置に対して入力案内画面を表示する。この入力案内画面には 1 回の取引、すなわち 1 枚の帳票に記載された上述した各種データの入力位置が表示され、一つのデータをキー入力してスキップ操作を実施すると次の入力位置へカーソルが移動する。

【 0 0 1 6 】このような入力制御において、操作者は各種データを示す数字列や文字列をキー入力するのみで、該当データに予め設定された表示制御形式に従って、例えば小数点処理や、表示位置処理や、右揃え処理、左揃え処理、中央揃え処理、ハイフン挿入処理が自動的に実施されて指定位置に表示される画面制御 O C X (Object Linking & Embedding Custom Control) が採用されている。

【 0 0 1 7 】したがって、この販売管理システムを設計する設計者は各データ項目毎に、前記画面制御 O C X で定義されている上述した表示制御項目を含む 1 0 0 個以上の表示制御項目のなかから該当データ項目に必要な表示制御項目を選択して、選択した各表示制御項目毎に表示制御状態を選択設定する必要がある。

【 0 0 1 8 】しかし、入力するデータ項目数が多いので、各データ項目毎の表示制御項目の選択作業、及びそれに続く表示制御項目毎の表示制御状態の選択設定作業に多大の労力と時間が必要である。その結果、この販売管理システムのソフトウェアの開発・作成時間が増大すると共に、人為的ミスの発生率が上昇する。

【 0 0 1 9 】本発明はこのような事情に鑑みてなされたものであり、過去の各月毎の売上金額に対する回収率を算出することによって、回収漏れを低減でき、将来の各月で得られる回収金額を高い精度で予測でき、将来の資金入力を予測でき、有効な経営戦略を立案できる販売管

理システムを提供することを目的とする。

【0020】さらに、キー入力する各データ項目を複数のテキスト種別に区別することによって、各データを表示する場合における各データ項目毎の各表示制御状態を簡単に設定できる入力表示制御方法を提供することを目的とする。さらに、たとえハードウェアやソフトウェアに異常が生じたとしても、簡単にかつ確実に処理を再実行できる入力処理装置を提供することを目的とする。

【0021】

【課題を解決するための手段】上記課題を解消するために本発明の販売管理システムにおいては、取引が発生する毎に入力装置を介して入力された該当取引の取引先情報、販売商品情報、販売日、売上金額、該当売上金額における掛売金額、該当掛売金額における回収金額を記憶する取引別ファイルと、現在月から過去に所定月数遡った月までの各月における合計の売上金額と該当売上金額に含まれる掛売金額における現在までの回収金額とを記憶する月別集計ファイルと、各取引に対する回収金額が入力装置を介して入力される毎に取引別ファイル及び月別集計ファイルの対応する回収金額を増額更新する回収金額更新手段と、月の終了時点で、月別集計ファイルにおける各月の各金額を一つ前の月へシフトし、取引別ファイルの記憶内容のうちの当月の合計の売上金額と掛売金額における現在までの回収金額を集計して、シフトの後の最も新しい月に書込む月別集計ファイル更新手段と、この更新後の月別集計ファイルにおける各月の売上金額に対する回収率を各経過月別回収率として算出する経過月別回収率算出手段と、次月以降所定月数経過するまでの各月における各売上予測と経過月別回収率算出手段で算出された各経過月別回収率から次月以降所定月数経過するまでの各月における各回収金額の予測を行う回収金額予測手段とを備えている。

【0022】このように構成された販売管理システムにおいては、入力装置を介して取引先情報、販売商品情報、販売日、売上金額、該当売上金額における掛売金額、該当掛売金額における回収金額が入力されるとこれらの情報は取引別ファイルに登録される。また、入力装置を介して各取引に対する回収金額が入力されると、取引別ファイル及び月別集計ファイルの対応する回収金額が増額更新される。

【0023】そして、月の終了時点で月別集計ファイルの記憶内容が1月づつ古い月側へシフトされる。さらに、更新後の月別集計ファイルにおける各月の回収率が各経過月別回収率として計算される。すなわち、掛売金額が発生してからの経過月毎に売上金額の回収率が求まる。したがって、将来の各月における売上金額の予想が決まると、この売上金額の発生時点から何ヶ月後にこの売上金額の何%が回収できるかを予測できる。

【0024】すなわち、たとえ将来の各月において掛売金額が発生したとしても、確実に該当掛売金額の回収予

測月が算出できるので、将来の資金入力が予測でき、有効な経営戦略を立案できる。

【0025】また、別の発明は、入力装置から入力された各項目の文字列を表示装置に表示された入力案内画面の指定位置に各項目毎に定められた表示制御形式に従って表示する入力表示制御方法に適用される。

【0026】そして、上述した課題を解消するために、入力すべき各項目の文字列を複数のテキスト種別に区別し、文字列を入力案内画面に表示する時に参照されるテキスト種別に対応して選択指示する複数の表示制御項目を予め選択指定しておき、各項目毎に、該当項目に入力される文字列のテキスト種別に対応して予め選択指定された表示制御項目と、この表示制御項目に対する表示制御状態を選択指定するための項目別表示選択画面を表示装置に表示させ、この項目別表示制御選択画面で選択指定された各表示制御項目に対する表示制御状態を該当項目の表示制御形式として設定するようにしている。

【0027】また、別の発明においては、テキスト種別は、文字型テキストと数値型テキストと日付型テキストとに区分される。このように構成された入力表示制御方法においては、入力すべき各項目の文字列を文字型テキストと数値型テキストと日付型テキストとの3つのテキスト種別毎に区別している。そして、各テキスト種別毎に該当種別のテキストを入力案内画面に表示する場合に選択指定する表示制御項目を予め選択指定している。

【0028】したがって、この入力表示制御方法が適用される販売管理システムの設計者は、各データ項目毎に項目別表示制御選択画面で選択指定する表示制御項目数を大幅に減少できるので、各データ項目毎の各表示制御状態の設定作業能率を向上できる。

【0029】さらに、別の発明は、入力装置を介して入力された各種情報に基づいて入力処理部で所定の入力処理を実施する入力処理装置において、入力装置で操作入力された各種情報を示す文字列を採取する入力文字列採取手段と、この入力文字列採取手段で採取された文字列を時系列的に記憶する入力ログメモリと、障害発生時や再実行が必要な時に、入力ログメモリに記憶された各文字列を入力処理部へ入力して入力処理部に処理を再実行させる文字列再入力部とを備えている。

【0030】このように構成された入力処理装置によれば、例えばキーボード等の入力装置で操作入力された各種情報を示す文字列は、入力処理部で例えば取引処理ファイルに対する番込み等の所定の入力処理が実施されると共に、入力ログメモリにそのまま時系列的に番込まれて記憶保持される。

【0031】そして、障害発生時や再実行が必要な時に、入力ログメモリに記憶された各文字列が入力処理部へ入力されて所定の入力処理が実施される。すなわち、従来装置のように入力処理部で入力処理された後のデータをを用いて再実行処理していた場合には、入力処理部が

ら取引処理ファイルまでの経路に異常が発生した場合は、帳票や請求書により処理結果の間違いに気付いたとしても、その異常原因を把握することができなかったが、本願においては、帳票や請求書により処理結果の間違いが検知された場合に、入力状況を確実に把握することができ、また復旧の際に再度データ入力する必要がなくなる。

【0032】さらに別の発明は、入力装置を介して入力された各種情報に基づいて入力処理部で所定の入力処理を実施する入力処理装置において、入力処理部に組込まれ、入力装置で操作入力された各種情報を示す文字列を採取する入力文字列採取手段と、この入力文字列採取手段で採取された文字列を時系列的に記憶する入力ログメモリと、入力処理部に組込まれ、障害発生時や再実行が必要な時に、入力ログメモリに記憶された各文字列に基づいて所定の入力処理を再実行させる入力再実行処理手段と備えている。

【0033】このように構成された入力処理装置においては、入力処理部に入力文字列採取手段及び入力再実行処理手段が収納されているので、上述した装置に比較すると、若干異常の検出性能は低下するが、当初の目的は十分達成できる。

【0034】

【発明の実施の形態】以下本発明の実施形態を図面を用いて説明する。図1は本発明の実施形態の販売管理システムの概略構成を示すブロックである。この販売管理システムはコンピュータ等の一種の情報処理装置で構成されている。

【0035】例えば、表示器1aとキーボード1bからなる入力装置1を介して取引が発生する毎に入力された該当取引に関する各種データは入力文字列採取部2を介して入力変換処理部3へ入力される。入力文字列採取部2は操作者がキーボード1bを介し入力した各データを示す複数の文字からなる文字列を入力変換処理部3へ送出すると共に、文字列をそのまま抽出して入力ログメモリ4へ時系列的に蓄込んでいく。文字列再入力部5は、この販売管理システムに異常が発生した場合やデータベース6の記憶内容が損傷を受けた場合に、外部指示に基づいて入力ログメモリ4に記憶保持している各文字列を入力順に読出して、入力変換処理部3へ再入力する。

【0036】よって、入力文字列採取部2と入力ログメモリ4と文字列再入力部5は、この販売管理システムの異常発生時に入力データをバックアップする入力処理装置を構成する。

【0037】入力変換処理部3は、入力装置1の表示装置1aに、例えば1回の取引で入力される例えば図2、図8に示す入力案内画面11を表示する。そして、キーボード1bを介して入力された伝票番号、日付、取引先コード、取引区分、商品名(備考)等の各データ項目毎の各文字列からなるデータ13を入力案内画面11内に

設けられた該当データ項目の入力位置14へ表示出力する画面制御OCXが組込まれている。

【0038】また、入力変換処理部3は、キーボード1bを介して入力された各データ項目毎の各文字列からなるデータ13を各データ項目毎に設定された変換テーブル7を用いて売上登録処理部9を通じて後で解析しやすい入力のログイメージ13aに変換する。

【0039】次に、表示制御状態設定部8について説明する。この表示制御状態設定部8は、入力変換処理部3が各データ項目の各データ13を指定された入力位置14へどのような状態で表示するかを示す各データ項目毎の表示制御状態を設定して入力変換処理部7へ予め設定しておく機能を有する。

【0040】前述したように、画面制御OCXにおいては、図3に示すように、キーボード1bから入力された各データ項目の各データ13を入力案内画面11内に設けられた該当データ項目の入力位置14へ表示出力する場合における表示制御項目19が100個以上設定されている。この表示制御項目19として例えば前述したように、Accept Enter Key (TAB処理)、Date Check(日付チェック処理)、小数点処理、表示位置処理、Align(右揃え処理、左揃え処理、中央揃え処理)、ハイフン挿入処理、Blink(点滅表示処理)、Back Color(背景色処理)、Error Beep(エラー警報音処理)、・・・が規定されている。

【0041】そして、この販売管理システムにおいては、入力装置1から入力されるデータ項目としては、図8に示すように、10~20項目存在するが、大きく分けて、商品名や取引先(得意先)名等の文字テキストと、金額や数量等の数値テキストと、販売日(受注日)等の日付テキストとの3種類のテキスト種別に分類できる。

【0042】そして、同一テキスト種別に所属する各データ項目に対する表示制御項目19はある程度一致している筈である。したがって、上述した100個以上の表示制御項目19のなかから各テキスト種別に対応した必要数の表示制御項目19を予め選択しておく。図3は、文字型テキスト種別(Aタイプ)、数値型テキスト種別(Bタイプ)、日付型テキスト種別(Cタイプ)に対してそれぞれ選択した表示制御項目19の一覧を示す図である。なお、この選択は設計者の判断で実施する。そして、図4に示すように、各テキスト種別毎に選択した各表示制御項目19は、表示制御状態設定部8内に設けられた文字入力用選択制御項目メモリ15a、数値入力用選択制御項目メモリ15b、日付入力用選択制御項目メモリ15c内へ蓄込む。

【0043】そして、図2、図8に示す入力すべき各データ項目毎に、該当データ項目が所属するテキスト種別で先に選択指定した表示制御項目19のみが含まれる各項目別表示制御選択画面としての文字入力制御選択画面

1 6 a. 数値入力制御選択画面 1 6 b. 日付入力制御選択画面 1 6 c を作成する。したがって、各項目別表示制御選択画面 1 6 a ~ 1 6 c はそれぞれ該当テキスト種別数だけ存在する。

【 0 0 4 4 】 図 5 は文字型テキストに所属する得意先（取引先）、請求先を示すテキスト（文字列）を入力したときに該当文字列を入力案内画面 1 1 内に設けられた該当データ項目の入力位置 1 4 へ表示出力する場合における各表示制御項目 1 9 の制御状態を設計者が選択設定するための文字入力制御選択画面 1 6 a である。

【 0 0 4 5 】 また、図 6 は数字型テキストに所属する数量、単価、個数を示すテキスト（文字列）を入力したときに該当文字列を入力案内画面 1 1 内に設けられた該当データ項目の入力位置 1 4 へ表示出力する場合における各表示制御項目 1 9 の制御状態を設計者が選択設定するための数字入力制御選択画面 1 6 b である。

【 0 0 4 6 】 さらに、図 7 は日付型テキストに所属する受注日、納期日を示すテキスト（文字列）を入力した場合に該当文字列を入力案内画面 1 1 内に設けられた該当データ項目の入力位置 1 4 へ表示出力する場合における各表示制御項目 1 9 の制御状態を設計者が選択設定するための数字入力制御選択画面 1 6 c である。

【 0 0 4 7 】 図 4 に示すメニュー表示処理部 1 7 は、上述した各項目別表示制御選択画面 1 6 a ~ 1 6 c を入力装置 1 の表示装置 1 a に表示出力する。設計者は表示装置 1 a に表示された各項目別表示制御選択画面 1 6 a ~ 1 6 c に表示された各表示制御項目 1 9 に対してそれぞれ表示制御状態をマウスを用いて選択設定する。

【 0 0 4 8 】 一つのデータ項目に対する各表示制御項目 1 9 の表示制御状態が設計者にて選択設定されると、登録処理部 1 8 にてそのデータ項目の各表示制御項目 1 9 の表示制御状態を入力変換処理部 3 へ送出する。

【 0 0 4 9 】 このように、入力案内画面 1 1 内に表示するすべてのデータ項目に対する各表示制御項目 1 9 の表示制御状態を入力変換処理部 3 へ送出すると、この表示制御状態設定部 8 の処理動作が終了する。

【 0 0 5 0 】 したがって、入力変換処理部 3 は、入力装置 1 のキーボード 1 b から一つのデータ項目のデータ 1 3 が入力されると、このデータ 1 3 のデータ項目に対して設定されている各表示制御項目 1 9 の表示制御状態に従って、該当データ 1 3 を入力案内画面 1 1 内の該当データ項目の入力位置 1 4 へ表示出力する。

【 0 0 5 1 】 すなわち、例えば得意先名を該当欄へ入力し、入力が完了すると該当記入欄内で右詰め処理されたり、図 8 に示すように受注日が 9 8 年 1 月 1 3 日の場合、「 9 8 0 1 1 3 」と入力すると登録された表示制御項目の状態に従って、自動的に「 9 8 - 0 1 - 1 3 」というように年、月、日の間にハイフン（ - ）が表示されたり、単価が 6 千円の場合、「 6 0 0 0 」と入力すると自動的に「 6 , 0 0 0 」というようにカンマが表示さ

れるように自動制御される。

【 0 0 5 2 】 図 1 に示すデータベース 6 内には、取引先ファイル 3 4、売上明細ファイル 2 0、売上金回収ファイル 2 1、月別売上集計ファイル 2 2、月別売上金回収集計ファイル 2 3、管理情報ファイル 2 4 等が設けられている。

【 0 0 5 3 】 取引先ファイル 1 9 内には、図 9 に示すように、各取引先毎に、取引先コード、取引先名、郵便番号、住所、電話番号、締日、決済（支払）条件、過去から現在までの回収実績等が記憶される。決済（支払）条件とは、例えば、現金／手形比率、手形サイト（期間）であり、回収実績とは例えば手形や現金の実績の回収率である。

【 0 0 5 4 】 売上明細ファイル 2 0 内には、図 1 0 に示すように、順次発生する各取引毎に、該当取引の取引先コード、取引日付、現金売り又は掛売り又は他の購入代金との相殺等の取引区分（支払い区分）、売上金額、販売商品の商品コード等が時系列的に記憶される。

【 0 0 5 5 】 売上金回収ファイル 2 1 内には、図 1 1 に示すように、売上明細ファイル 2 0 内に記憶された各取引毎に、前述した取引先コード、取引日付、取引区分の他に、現在までの売上金額に対する回収金額、対応売上月、手形の場合の手形サイト（期間）等が記憶されている。

【 0 0 5 6 】 したがって、売上明細ファイル 2 0 と売上金回収ファイル 2 1 とで取引別ファイルを構成する。月別売上集計ファイル 2 2 内には、図 1 2 に示すよう、各取引先毎に、今月、前月（1 ヶ月前）、前々月（2 ヶ月前）、3 ヶ月前、4 ヶ月前の各月における合計の掛売金額、現金売金額が記憶されている。

【 0 0 5 7 】 また、月別回収集計ファイル 2 3 内には、図 1 3 に示すよう、各取引先毎に、今月、前月（1 ヶ月前）、前々月（2 ヶ月前）、3 ヶ月前、4 ヶ月前の各月で販売した商品に対する、回収月数、現在時点における合計の現金回収金額、現在時点における合計の手形回収金額、現在時点における手形平均サイト、現在時点における合計の相殺金額、その他の金額が記憶されている。

【 0 0 5 8 】 この月別回収集計ファイル 2 3 を見ることによって、各取引先別に過去 4 ヶ月前までの各月における現金及び手形の回収金額が一瞥して把握できる。また、月別売上集計ファイル 2 2 を見ることによって、各月の各取引先別の合計の売上金額が得られるので、該当月に販売した商品の合計の売上金額に対する合計の回収金額から現在における該当月の回収率を算出することが可能である。

【 0 0 5 9 】 したがって、月別売上集計ファイル 2 2 と月別回収集計ファイル 2 3 とで、現在月から過去に 4 ヶ月数遡った月までの各月における合計の売上金額と該当売上金額に含まれる掛売金額における現在までの回収金額とを記憶する月別集計ファイルを構成する。

【 0 0 6 0 】 管理情報ファイル 2 4 内には、図 1 4 に示すように、例えばデータの保存期間が記憶されている。図 1 において、売上登録処理部 9、請求書作成部 2 5、回収金額更新処理部 1 0、月末更新処理部 1 2、経過月別回収率算出部 2 8、回収金額予測部 2 9 は図 1 5 の流れ図に従って販売管理業務を実行する。

【 0 0 6 1 】 入力装置 1 を介して新規の取引に関する売上データが入力されると (P 1)、売上登録処理部 9 が起動して、その売上データを売上明細ファイル 2 0 及び売上金回収ファイル 2 1 に新規登録する。また月別売上集計ファイル 2 2 の今月の領域の掛売金額又は現金売上金額を増額更新する (P 2、P 3)。

【 0 0 6 2 】 入力装置 1 を介して売上金額が登録済みの取引に関する回収金額が入力されると (P 4)、回収金額更新処理部 1 0 は、売上金回収ファイル 2 1 の該当取引の回収金額に今回入力した回収金額を加算する (P 5)。さらに、回収金額更新処理部 1 0 は月別回収集計ファイル 2 3 内の該当取引先の該当取引が発生した月の現金または手形の回収金額に今回入力した回収金額を加算する (P 6)。

【 0 0 6 3 】 次に、請求書作成部 2 5 は、入力した売上データに基づいて該当取引に対する請求書を作成して、プリンタ 2 6 を起動して請求書 2 7 を発行させる (P 7)。また、月末が到来すると (P 8)、月末更新処理部 1 2 は月末更新処理を実施する。具体的には、月別売上集計ファイル 2 2 及び月別回収集計ファイル 2 3 における最も古い月、すなわち 4 ヶ月前の月の領域に記憶されているデータを別途問題データとして保存する (P

$$1 \text{ ヶ月経過後平均回収率 } \alpha = (\alpha_1 + \alpha_2 + \alpha_3) / 3 \quad \cdots (1)$$

$$2 \text{ ヶ月経過後平均回収率 } \beta = [(\beta_1 + \beta_2) / 2] - \alpha \quad \cdots (2)$$

$$3 \text{ ヶ月経過後平均回収率 } \gamma = \gamma_1 - \alpha - \beta \quad \cdots (3)$$

なお、4 ヶ月以上の売上債権は不良債権として別途集計する。

【 0 0 6 8 】 経過月別の平均の回収率 α 、 β 、 γ の算出処理が終了すると、回収金額予測部 2 9 が起動して、次月から 4 ヶ月先までの各月における回収金額を各月の売上予測及び先に算出した各経過月の平均の回収率 α 、 β 、 γ を用いて算出する (P 1 1)。

【 0 0 6 9 】 この将来の各月の回収金額の具体的算出方法を図 1 7 を用いて説明する。例えば現時点が 7 月 3 1

$$8 \text{ 月回収予測金額 } M_8 = b \cdot \gamma + c \cdot \beta + d \cdot \alpha \quad \cdots (4)$$

9 月には 8 月の売上予測 A に 1 ヶ月経過後の平均回収率 α を乗算した金額が入り、5 月の売上実績 b に対する回収は 4 ヶ月以上となるのでこれを無視して、(5) 式とな

$$9 \text{ 月回収予測金額 } M_9 = c \cdot \gamma + d \cdot \beta + A \cdot \alpha \quad \cdots (5)$$

同様に、1 0 月及び 1 1 月の回収予測金額は (6) (7) 式と

$$1 0 \text{ 月回収予測金額 } M_{10} = d \cdot \gamma + A \cdot \beta + B \cdot \alpha \quad \cdots (6)$$

$$1 1 \text{ 月回収予測金額 } M_{11} = A \cdot \gamma + B \cdot \beta + C \cdot \alpha \quad \cdots (7)$$

将来の各月における各取引先毎の回収予測金額が算出されると、回収金額予測部 2 9 がプリンタ 2 6 を起動し

9)。次に、月別売上集計ファイル 2 2 及び月別回収集計ファイル 2 3 における各月の領域に記憶されているデータを 1 ヶ月づつ古い月の領域にシフトして、最も新しい月の領域をクリアして次月に備える (P 1 0)。

【 0 0 6 4 】 次に、経過月別回収率算出部 2 8 が起動して、更新後の月別売上集計ファイル 2 2 及び月別回収集計ファイル 2 3 を用いて各取引先毎に、経過月別の平均の回収率 α 、 β 、 γ を算出する (P 1 1)。

【 0 0 6 5 】 この経過月別の平均の回収率 α 、 β 、 γ の具体的算出方法を図 1 6 を用いて説明する。例えば現時点が 7 月 3 1 日の場合、例えば特定取引先の 4 月、5 月、6 月、7 月の各売上金額 (売上実績) が a、b、c、d であり、前述した該当月に発生した売上金額に対する該当月以降の各月までに回収された回収金額からその月における回収率を前述した手法で算出する。

【 0 0 6 6 】 そして、例えば 4 月に発生した売上金額 a に対して 1 ヶ月経過後の 5 月度に累積の回収率 α_1 となり、2 ヶ月経過後の 6 月度に累積の回収率 β_1 となり、3 ヶ月経過後の 6 月度に累積の回収率 γ_1 となったとする ($\alpha_1 < \beta_1 < \gamma_1$)。同様に、5 月に発生した売上金額 b に対して 1 ヶ月経過後の 6 月度に累積の回収率 α_2 となり、2 ヶ月経過後の 7 月度に累積の回収率 β_2 となったとする ($\alpha_2 < \beta_2$)。さらに、6 月に発生した売上金額 c に対して 1 ヶ月経過後の 7 月度に累積の回収率 α_3 となったとする。

【 0 0 6 7 】 この場合、該当取引先の各経過月の平均の回収率 α 、 β 、 γ は下式となる。

日の場合、例えば特定取引先の 5 月、6 月、7 月の各売上金額が b、c、d であり、8 月、9 月、1 0 月、1 1 月の売上予測がそれぞれ A、B、C、D であるとする。

【 0 0 7 0 】 すると、次月である 8 月には、5 月～7 月の各実績の売上金額 b、c、d にそれぞれの経過月の平均の回収率 γ 、 β 、 α を乗算した値が実績売上に対する回収予測値となる。したがって、8 月の回収予測金額 M_8 は (4) 式となる。

【 0 0 7 1 】

る。

【 0 0 7 2 】

なる。

て、図 2 0 に示す月別回収予測値一覧表 3 0 を印字出力する (P 1 2)。

【0073】また、必要に応じて、図18に示す取引先別回収率一覧表31及び図19に示す売掛金期日明細書32を印字出力する。さらに、図21に示す経過月別売掛残高一覧表33を印字出力する。

【0074】このように構成された販売管理システムにおいては、表示装置1aとキーボード1bとからなる入力装置1を介して入力された図2に示す取引先コード、伝票番号、日付、売上金額、該当売上金額に対する支払い方法、商品名等の販売データが入力されると、売上明細ファイル20及び売上金回収ファイル21に登録される。また、入力装置1を介して各取引に対する回収金額が入力されると、売上金回収ファイル21及び月別売上金回収集計ファイル23の該当する取引きの回収金額及び該当月の回収金額が増額更新される。

【0075】そして、月の終了時点で月別売上金回収集計ファイル22及び月別売上金回収集計ファイル23の各月の記憶内容が1ヶ月づつ古い月側へシフトされる。さらに、更新後の売上金回収ファイル21及び月別売上金回収集計ファイル23を用いて、1ヶ月経過後平均回収率 α 、2ヶ月経過後平均回収率 β 、3ヶ月経過後平均回収率 γ が算出される。

【0076】そして、将来の各月における売上金額の予測A、B、C、Dが決まると、各経過月後平均回収率 α 、 β 、 γ を用いてこの売上金額A、B、C、Dの発生時点から何ヶ月後にこの売上予測金額の何%が回収できるかを予測できるので、将来の各月における回収予測金額 M_1 、 M_2 、 M_3 、 M_4 が算出される。

【0077】したがって、売上金額の発生時点から該当売上金額に対する回収まで期間を適格に把握でき、たとえば将来の各月において掛売金額が発生したとしても、確実に該当掛売金額の回収予測月が算出できるので、将来の資金入力が予測でき、有効な経営戦略を立案できる。

【0078】また、入力文字列採取部2と入力ログメモリ4と文字列再入力部5は、この販売管理システムの異常発生時に入力データをバックアップする入力処理装置を構成している。

【0079】したがって、従来の売上明細ファイル20に記憶されたデータを用いて再実行させる場合に比較して、たとえば入力変換処理部3から売上明細ファイル20までの経路に異常が発生した場合においても、帳票や請求書により処理結果の間違いが検知された場合に、入力状況を確認に把握することができる。また、復旧の際に、再度データ入力する必要がない。

【0080】さらに、入力装置1のキーボード1bを用いて入力すべき売上データの各データ項目のデータ13の文字列を文字型テキストと数値型テキストと日付型テキストとの3つのテキスト種別毎に区別している。そして、各テキスト種別毎に該当種別のテキストを入力案内画面11内の入力位置14に表示する場合に選択指定する表示制御項目19を予め少数に選択指定している。

【0081】したがって、この販売管理システムの設計者は、各データ項目毎に項目別表示制御選択画面16a～16cで選択指定する表示制御項目19数を大幅に減少できるので、各データ項目毎の各表示制御状態の設定作業能率を大幅に向上できる。

【0082】なお、本発明は上述した各実施形態に限定されるものではない。例えば、掛売に対する回収金額について、図13に示す月別回収集計ファイル23においては、各取引先毎に今月、前月、前々月等各月に販売した商品に対する現時点における合計回収金額を現金回収金額と手形回収金額とに分けて記憶しているが、現時点における回収金額の合計ではなく、各月における回収金額の合計を同様に現金回収金額と手形回収金額に分けて記憶すると共に、掛売に対する相殺やその他の取引についても同様に記憶することにより、平均手形サイトに関する詳細な分析が可能となる。

【0083】回収集計ファイルに格納された情報の更新方法について、図15の流れ図のステップP10において各月の領域に記憶されているデータを1ヶ月づつ古い月の領域にシフトして最も新しい月の領域をクリアして次月に備えるというように、取引先毎の各月の情報を1レコードを各月毎の格納領域として分割した場合を想定して説明した。しかし、各取引先毎に各月の情報を1レコードに格納する場合、すなわち格納月数分のレコードを取引先毎に有する場合は、最も古い月のレコードを削除し、最も新しい月の格納領域を設けることになる。

【0084】このように、本発明では、このように各取引先の各月の情報をどちらの形式で格納した場合においても情報更新を行い、最も新しい月の格納領域を確保する方法をシフトという言葉で表現している。

【0085】また、過去分データとして4ヶ月分のデータを格納する例で示したが、更に、4ヶ月、4ヶ月というように、4ヶ月以上のデータを格納する場合でも同様の手法で管理が可能である。

【0086】さらに、本実施形態においては、入力データをバックアップする入力処理装置を構成する入力文字列採取部2と文字列再入力部5を入力変換処理部3に対して個別に設けた。しかし、図20に示すように、入力文字列採取部2aと文字列再入力部5aとを入力変換処理部3内にサブルーチンの形式で組込むことが可能である。

【0087】このような構成であったとしても、図1に示す実施形態システムとほぼ同様の作用効果が期待できる。また、本実施形態における各処理部で実行する処理をプログラム化し、例えば、フロッピーディスク、ハードディスク、磁気ディスク、CD-ROM等の光ディスク等の記録媒体に記憶し、汎用コンピュータに記録媒体に格納されたプログラムをインストールすることにより実現してもよい。

【0088】さらに、本発明の実施形態の入力表示制御

方法及び入力処理装置は図 1 に示す実施形態の販売管理システムに組込んだが、販売管理システムに限定されるものではなくて、キーボードと表示装置からなる入力装置を有する全ての情報処理システムに組込むことが可能である。

【 0 0 8 9 】

【発明の効果】以上説明したように本発明の販売管理システムにおいては、月別集計ファイルを立てて、過去の各月毎の売上金額に対する回収率を算出し、各経過月毎の回収率を求めている。さらに、将来の各月の売上予測から将来の各月における売上回収金額を予測演算している。したがって、将来の各月で得られる回収金額を高い精度で予測でき、その結果、将来の資金入力を予測でき、有効な経営戦略を立案できる。

【 0 0 9 0 】また、本発明の入力表示制御方法においては、キー入力する各データ項目を文字型テキストと数値型テキストと日付型テキストとの 3 つのテキスト種別に区別して、各テキスト種別毎に表示制御項目を選択している。したがって、各データを表示する場合における各データ項目毎の各表示制御状態を簡単に設定でき、各データ項目毎の各表示制御状態の設定作業能率を大幅に向上できる。

【 0 0 9 1 】さらに、本発明の入力処理装置においては、入力装置で操作入力された文字列をそのまま入力ログメモリに記憶保持している。したがって、たとえ入力されたデータを処理する入力処理部から入力データを記憶するファイルまでの経路にハードウェアやソフトウェアに異常が生じたとしても、簡単にかつ確実に処理を再実行でき、システムの信頼性を向上できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の一実施形態の販売管理システムの概略構成を示すブロック図

【図 2】 同販売管理システムにおける入力されたデータの変遷を説明するための図

【図 3】 同販売管理システムに適用された入力表示制御方法における各テキスト種別と該当テキスト種別で選択される表示制御項目を示す図

【図 4】 同販売管理システムにおける表示制御状態設定部の概略構成を示すブロック図

【図 5】 同販売管理システムにおける文字入力制御選択画面を示す図

【図 6】 同販売管理システムにおける数値入力制御選択画面を示す図

【図 7】 同販売管理システムにおける日付入力制御選択画面を示す図

【図 8】 同販売管理システムにおける入力案内画面を示す図

【図 9】 同販売管理システムにおける取引先ファイルを示す図

【図 1 0】 同販売管理システムにおける売上明細ファ

イルを示す図

【図 1 1】 同販売管理システムにおける売上回収ファイルを示す図

【図 1 2】 同販売管理システムにおける月別売上集計ファイルを示す図

【図 1 3】 同販売管理システムにおける月別回収集計ファイルを示す図

【図 1 4】 同販売管理システムにおける管理情報ファイルを示す図

10 【図 1 5】 同販売管理システムの管理業務を示す流れ図

【図 1 6】 同販売管理システムにおける経過月別回収率の算出方法を説明するための説明図

【図 1 7】 同販売管理システムにおける回収予測金額の算出方法を説明するための説明図

【図 1 8】 同販売管理システムで印字出力された取引別回収率一覧表を示す図

【図 1 9】 同販売管理システムで印字出力された受取手形期日別明細書を示す図

20 【図 2 0】 同販売管理システムで印字出力された月別回収予測一覧表を示す図

【図 2 1】 同販売管理システムで印字出力された経過月別売掛残高一覧表を示す図

【図 2 2】 本発明の他の実施形態の販売管理システムの一部を取出して示すブロック図

【図 2 3】 従来の販売管理システムの概略構成を示すブロック図

【符号の説明】

1 … 入力装置

30 1 a … 表示装置

1 b … キーボード

2, 2 a … 入力列採集部

3, 3 a … 入力変換処理部

4 … 入力ログメモリ

5, 5 a … 文字列再入力部

6 … データベース

7 … 変換テーブル

8 … 表示制御状態設定部

9 … 売上登録処理部

40 1 0 … 回収金額更新処理部

1 1 … 入力案内画面

1 2 … 月末更新処理部

1 3 … データ

1 3 a … 入力ログのイメージ

1 4 … 入力位置

1 9 … 表示制御項目

2 0 … 売上明細ファイル

2 1 … 売上金回収ファイル

2 2 … 月別売上集計ファイル

50 2 3 … 月別売上金回収集計ファイル

<input checked="" type="checkbox"/> AcceptEnterKey	<input checked="" type="checkbox"/> DataCheck	19
<input type="checkbox"/> AllInput	<input type="checkbox"/> FieldCase	
<input checked="" type="checkbox"/> AutoRelease	<input type="checkbox"/> FieldType	
<input type="checkbox"/> AutoSize	<input checked="" type="checkbox"/> InputMode	
<input type="checkbox"/> Editcomma	<input type="checkbox"/> LimitCheck	
<input type="checkbox"/> Edityen	<input type="checkbox"/> .	
<input type="checkbox"/> .	<input type="checkbox"/> .	
<input type="checkbox"/> .	<input type="checkbox"/> .	

【 図 6 】

数量、単価、他数値型(数字データ)制御選択画面

NumTextBox Controlのプロパティ

General | フォント

☒ AcceptEnterKey Length_Decimal 0

☐ AllInput Length_Integer 5

☐ AutoRelease ☐ LimitCheck

☒ AutoSize LimitMax 0

☐ CompulsoryInput LimitMin 0

☒ EditComma ☐ SelectCheck

☐ EditYen SelectedValues

EditMinus 0 - 表示

☐ ZeroSuppress_Decimal

ErrorBlink 0 - オフ ☒ ZeroSuppress_Integer

InputMode 1 - 上書き Blink 0 - オフ

GuidanceDispBox ErrorDispBox

Guidance

【图 8】

受入力		14	11
受注日 99-01-13	納期日 99-01-13	12	
得意先 01501001	〇文具用品		
請求先 01101001	ドウシバ日用品店		
品名	数量	単価/原価割	金額/消費税
1 1004001012	10	6,000	60,000
たこ焼きセット		3,000	3,000
2 1004001013	5	3,600	18,000
鍋焼きスコンロ			
3			
4			
5			
		12	
入力完了(End)	終了(Home)	取消(L)(Esc)	
		小計	78,000
		外税	0
		合計	78,000

【 1 0 】

[illegible]

【 1 3 】

[illegible]

【 図 1 2 】

月別売上集計ファイル

22

取引先 コード	売上月 (今月)	掛売 金額	現金 売上額	売上月 (前月)	掛売 金額	現金 売上額		売上月 (4ヶ月前)	掛売 金額	現金 売上額
.....										

【 図 1 4 】

管理情報ファイル			
データ保持期間	現在月		

【 図 1 6 】

	4月売上 実績 a	5月売上 実績 b	6月売上 実績 c	7月(当月) 売上実績 d
4月回収 実績	前受金			
5月回収 実績	α_4	前受金		
6月回収 実績	β_4	α_5	前受金	
7月回収 実績	γ_4	β_5	α_6	前受金

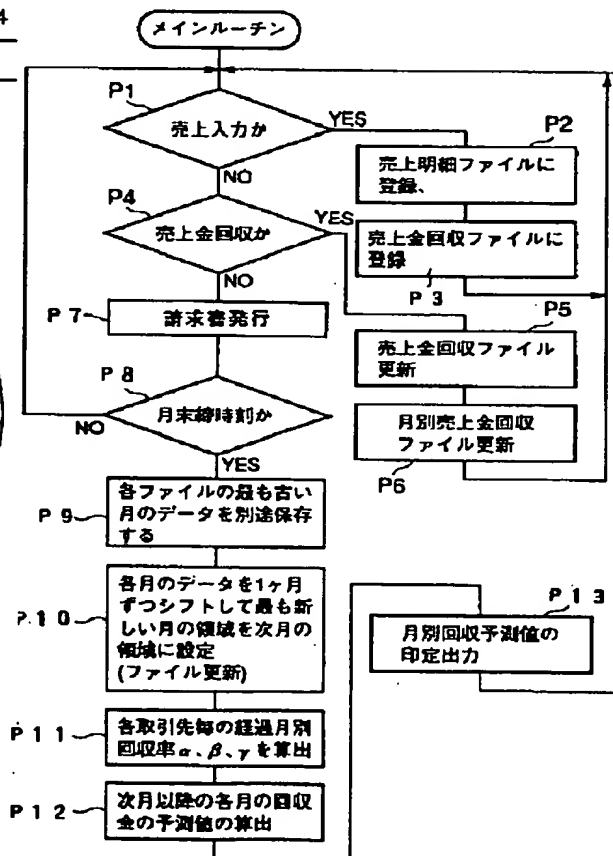
$$1\text{ヶ月目平均回収率}\alpha = \frac{\alpha_4 + \alpha_5 + \alpha_6}{3}$$

$$2\text{ヶ月目平均回収率}\beta = \frac{\beta_4 + \beta_5}{2} - \alpha$$

$$3\text{ヶ月目平均回収率}\gamma = \gamma_4 - \alpha - \beta$$

(注) 4ヶ月以上は不良債権として別途収計する

【 図 1 5 】



【 図 1 7 】

【 図 2 0 】

	6月売上 実績 b	6月売上 実績 c	7月売上 実績 d	8月売上 予測 A	9月売上 予測 B	10月売上 予測 C	11月売上 予測 D	月別回収予測一覧表					30
8月回収 予測 M8	$b \cdot \gamma$	$c \cdot \beta$	$d \cdot \alpha$					取引先名	次回	2ヶ月先	3ヶ月先	4ヶ月先	合計
9月回収 予測 M9	—	$c \cdot \gamma$	$d \cdot \beta$	$A \cdot \alpha$									
10月回収 予測 M10	—	—	$d \cdot \gamma$	$A \cdot \beta$	$B \cdot \alpha$								
11月回収 予測 M11	—	—	—	$A \cdot \gamma$	$B \cdot \beta$	$C \cdot \alpha$							

【図 18】

取引先回収率一覧表 31

取引先	1ヶ月目 回収率	2ヶ月目 回収率	3ヶ月目	手形 サイト	取決 決済条件
...			

【図 19】

売掛金期日別明細書 32

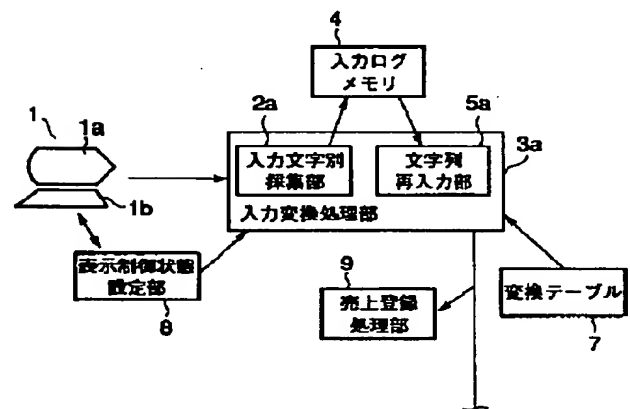
期別	××期	×△期	
明細			
1ヶ月以内			
2ヶ月以内			
3ヶ月以内			
4ヶ月以内			
5ヶ月以内			
5ヶ月超			
合計			

【図 21】

経過月別売掛残高一覧表 33

取引先名	前月	前々月	3ヶ月前	4ヶ月前	5ヶ月前

【図 22】



【図 23】

